

第1回徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 会議録

と き 令和5年8月3日（木）

午後1時30分から

ところ ホテル千秋閣7階鳳の間

次 第

1 開 会

2 委員紹介

3 市長あいさつ

4 徳島市高齢福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会について 資料1

5 会長・副会長選任

6 会長あいさつ

7 議 事

徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定について 資料2

(1) 計画の策定 P. 1

(2) 高齢者を取り巻く状況 P. 2

(3) 第8期計画における各施策の取組状況 P. 12

(4) 国の介護保険制度の改正の動向 P. 18

(5) 課題整理と今後の方向性 P. 23

(6) 第9期計画の基本的な考え方 P. 29

8 閉 会

事務連絡

資料

資料1 徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会について

資料2 徳島市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定について

参考資料 アンケート調査の結果

【議事内容】

事務局	・開会あいさつ ・委員紹介
第一副市長	・第一副市長あいさつ

事務局 第一副市長 事務局 会長	<p>第一副市長は、公務の都合により、ここで退席させていただきます。ここで失礼いたします。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 説明 ・会長・副会長の選任 ・会長あいさつ <p>設置要綱第 4 条第 1 項に基づき議長に就任</p>
議事（１）計画の策定 （２）高齢者を取り巻く状況について	
事務局 A 委員	<p>【資料 2 P1～11 説明】</p> <p>10～11 ページについて、1 人あたりの給付月額が多いサービスは、サービス提供事業所の数が多いことと関係があるのかどうか教えてください。</p>
事務局	<p>徳島市では、在宅で介護サービスを受けられる方が多くいらっしゃいますので、1 人あたりの給付月額、事業所数ともに、それぞれ通所サービスや訪問サービスが多くなっていると考えております。</p>
B 委員	<p>7 ページの地域支援事業費の推移について、介護予防・生活支援サービス事業費が令和 3 年度がピークで令和 4 年度は少なくなっていますが、人口動態を考えて今後も減っていくのかどうか。将来減っていくのであれば、予算もだんだん減ってくるころだと思っておりますがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>介護予防・生活支援サービス事業の利用者は要介護認定を受けていない、比較的支援の必要の程度の低い方々が多いと考えられますので、コロナ禍の状況におきまして、人との接触をできるだけ減らそうといった方向での利用控えの影響が大きいのではないかなと考えております。</p>
C 委員	<p>4 ページの認定者数が、令和 2 年以降は減少していますが、認定期間が 48 か月ということも影響しているのでしょうか。</p>
事務局	<p>徳島市では認定率が少しずつ下がってきております。いろんな要因が考えられると思いますが、今おっしゃられましたように、認定期間が 48 か月に延びたということももちろんあると思います。それに加え、5 ページの一番上のグラフを見ていただいてもわかりますように、徳島市の認定率は全国平均と比べて、これまで高かったような現状がございます。全国平均に近づいているという考え方もできるのではないかなと考えております。</p>
議事（３）第 8 期計画における各施策の取組状況	

D 委員	<p>15 ページの地域包括支援センターの権利擁護事業・虐待に関する相談件数が増えています。私が知っている中でも、徳島市内で虐待を受けている高齢者がいるというお話を聞きました。高齢者に無理やり食事を食べさせる、大声で叫ぶような職員がいるという話を聞きました。ハラスメントをしている職員は、高齢者以外にも、そこに新たに来る職員に対してもハラスメントを行っていて、来られた方は次々と辞めていく。職場は人手不足で、そのハラスメントをしている職員を辞めさせることができないという、ひどい状態に陥っているということでした。</p> <p>件数やパーセンテージ等の数字的なものだけではなく、今後どうしていくのか、どういうふうに改善されていくのかというところをお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>虐待の案件というのは、市民を通して連絡、通報が来ます。その都度、場合によっては警察とも協力しながら、職員が確認に行っています。一般の市民については通報があれば、こういうふうに動けますが、事業所の内部については、監査等で気をつけて把握する必要があると考えています。</p>
D 委員	<p>管理職の人に話を聞いてもあまり意味がないので、そこで働いている職員の方々にヒアリングしてほしいと思います。虐待をしている施設は1か所だけではないと思います。行政として、高齢者の方、職員の方、一人ひとりにヒアリングをして、根こそぎ改善していただきたいと思います。</p>
議長	<p>高齢者虐待の早期発見、予防の具体的な対策の方向を今後も考えていく必要があると思います。ありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
B 委員	<p>14 ページで老人クラブ会員数が目標値を大きく下回っています。最近では活動の多様化や、いろんな社会ニーズによって、老人クラブに参加する人が減ってきています。実際のところ、この数字以上に老人会の活動は減っているように思います。老人会の世話をする人が減少していると思うので、世話する人をどういうふうに育てるかが課題だと思います。行政の指導で研修のようなことをして、後継者を作っていくことが大事だと思います。</p>
事務局	<p>委員のおっしゃるとおり、老人会のお世話をいただいている方が高齢化し、次の後継者がなかなか出てこないという現実がございます。市では、後継者の方に対して、帳簿や書類の書き方、イベント開催の段</p>

E 委員	<p>取りなどを担当職員からお伝えはさせていただいています。高齢化に伴い、お世話係が減ってきたということは懸念しているところですので、なかなか難しいとは思いますが、何らかの方法を検討していきたいと思っています。</p> <p>これまでお世話をしてくれた方が高齢化でお世話できなくなった時に、後継者が不足しています。社会全般として、就業年齢の延長、あるいは比較的若い高齢者がこういう福祉に入るのを嫌う風潮は、だいぶ前からございます。令和5年度は5100人台に減っているのです、何とか減少を少なくしたいと思います。</p> <p>徳島県内で、自分たちで事務局をやっているのは徳島市だけです。いつまで我々も頑張れるかわかりませんが、できるだけがんばってやっていきたいと思っております。</p>
F 委員	<p>16ページの課題の中に、認知症の人本人や家族が集える場所、相談できる場所についての普及啓発がまだ進んでいないという評価がありました。認知症の人と家族の会で、認知症の人たちに来てもらって、軽作業や内職をやっています。認知症になったからといって、何もできなくなるわけではなくて、まだまだできることがあります。認知症の人が生きがいを持って活躍できる場所、集える場所が増えてほしいと思います。</p>
C 委員	<p>認知症の人が非常に明るく、生き生きと活動されています。小さい会でもいいので、自分の役割を持って活動できる場ができたらいいと思います。</p>
議長	<p>認知症の人とご家族が集っていくことはすごく大事だと思いますが、その普及啓発はどのようにされていますか。</p>
F 委員	<p>県から委託を受けて、電話での相談、コールセンターをしていますので、集まりの場があることを紹介しています。実際に見学に来てもらったり、家族は家族で集まる機会を設けたりしております、本人がいないところで家族同士が本音で話し合える集まりも毎月しています。</p> <p>コールセンターや私たちのホームページで周知していますが、まだまだ十分ではないので、地域包括支援センターや市を通じて、情報発信をしていただけたらありがたいと思います。</p>
G 委員	<p>14ページの地域包括支援センターを知っている高齢者の割合について、相談件数は増加しているようですが、相談しづらいという課題はありませんか。</p>
H 委員	<p>地域包括支援センターは、この建物の隣の徳島市医師会館2階に事務</p>

	<p>所があります。市内のほぼ中心に位置しておりまして、市内のほぼ全域から、車で30分以内の場所に位置しております。相談方法は、電話での初期相談後の対応として、訪問を基本としているため、市民に相談しづらさを与えることはないと考えております。また、市内14か所に在宅介護支援センターがあるんですけれども、そちらに当センターの相談窓口業務の一部を委託しておりまして、中学校区ごとに相談窓口機能を有しております。</p>
<p>議題（４）国の介護保険制度の改正の動向 （５）課題整理と今後の方向性 （６）第9期計画の基本的な考え方</p>	
H 委員	<p>フレイル予防や認知症予防において、住民主体の通いの場を増やしていくことは重要だと思います。前回の会議のときから、通いの場の会場費や冷暖房費の問題で増やせないといった悩みがありました。23ページに、令和5年度から、通いの場を運営する住民団体に対し、運営費等の一部を助成する制度が創設されたと書いてありますが、具体的にはどういった内容でしょうか。</p>
事務局	<p>令和5年度から、65歳以上の方の通いの場に対して、市から補助金を交付する制度を創設いたしました。地域の方や各種団体から財政的な支援を望む声があり、活動を継続的に維持していくために、市からの財政的な支援が必要と思ひまして、今年度から創設させていただいております。内容としましては、額は1回につき年額2万円で、立ち上げる際の初期費用は年間3万円を上限としまして、運営費の一部補助という形で作っております。始まって半年も経ってはいないですが、いきいき百歳体操や認知症に対する予防の活動に対する通いの場を新たに設定する団体に対して申請が上がってきており、徐々に増えています。</p>
H 委員	<p>体操を中心とした活動に参加する高齢者と、参加していない高齢者を比べた場合、介護費用が年間20万円抑制できたというデータがあるようです。100人参加することによって、2000万円の節約ができるということが明らかになってきていますので、ぜひ支援をお願いしたいと思います。</p> <p>こういった通いの場を増やしたり、リハビリテーション提供体制を推進したりするためには、リハビリテーション専門職を雇用・活用することが大切だと思います。鳴門市では、令和5年から理学療法士を徳島県で初めて雇用することが決まりました。徳島市においては、リハビリテ</p>

事務局	<p>ーション専門職を雇用して、徳島市全体を活性化するような動きはないでしょうか。</p> <p>専門職を職員に採用するという検討は始まっていません。徳島市の行財政改革も含めて、考えていく問題であると思います。今の流れとしては、多職種連携を含めて、徳島市がすべき事業について、いろいろな団体の方と協力して進めていく方向がいいのではないかという段階です。</p>
議長	<p>いきいき百歳体操の参加者は、新型コロナが5類に移行してからはどのような状況でしょうか。</p>
H 委員	<p>コロナ禍においては、いわゆるオンラインを活用して、体操の継続を支援しました。YouTube 等へのアクセスは高齢者が苦手ですので、ケーブルテレビに無償で体操の DVD をお渡しして、空いた時間に使ってもらえるようにしています。ただし体操の効果というのは、家で1人でするより、一緒に集まって共同でする方が効果が高いようです。</p>
I 委員	<p>17 ページを見ると、在宅医療支援センターを知っているか、自宅に人生の最後を迎えられる体制が整っているか、ACP についてというところが、実績のパーセントが少なくなっています。</p> <p>やはりコロナ禍において3年間広報活動ができなくて、今までは市民公開講座など、いろいろな形で広報できていたものができなくなってしまったのが原因ではないかと思っています。新型コロナウイルス感染症が5類になったので、今後は対面の市民公開講座も実施します。それから YouTube やケーブルテレビなど、いろいろなツールを使って、情報公開していこうと思っています。</p>
J 委員	<p>医療と介護の連携では、在宅医と医療機関との連携、かかりつけ医との連携が大切だと思います。</p> <p>それと、在宅で医療ニーズの高い方が多いと思いますが、看護小規模多機能型居宅介護の開設がもう少し進むような支援を徳島市からも受けられたらいいのかなと思います。</p>
K 委員	<p>ケアマネジャー自身も医療をもう少し勉強していかないといけないと思います。ケアマネジャーもACP について学んでいかなければならないと思っていますので、介護支援専門員協会でも医療と介護の連携についての勉強会、研修会を開催する予定です。徳島市とも連携を取りながら、介護支援専門員が学ぶ機会があればいいなと思いました。</p> <p>1 つ質問ですが、介護人材の確保というところで、介護現場の業務の</p>

事務局	<p>効率化の推進と書いてありますが、徳島市でどのように進められていますか。</p> <p>介護人材の定着に向けた取組として、介護サービス事業者向けにケア技術の向上を目的としたオンライン研修を開催しました。広報とくしま等におきましても、介護助手、トライアル介護職員の募集記事を年に何回か載せることによりまして、介護人材の確保に向けた協力をさせていただいております。</p>
L 委員	<p>11 ページのサービス事業所数で居宅療養管理指導が飛び抜けて多くなっています。薬剤師会としても勉強会等をする必要があると、この数字を見て思いました。</p>
M 委員	<p>口腔に対する認識、意識が低い傾向があるように思います。ケアマネジャーがケアプランを作成される際に、口腔衛生にも配慮していただきたいと思います。</p>
N 委員	<p>今後の方向性のあちこちでネットワークという言葉が出ていますが、具体的にどういう方々で構成されて、その方々がどうつながるかというようなモデル図を計画の中に載せていくことで、徳島市としての形を具体的に記載できればいいと思います。</p> <p>質問ですが、「視点4 介護サービス基盤と高齢者向け住まい」のところで、住まいの提供に関して、他の自治体でしたら民間団体と連携して進めているところもあると思います。「地域で支える支援体制の構築を図る必要がある」と書かれていますが、何か具体的に始まっているようなことがありましたら教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>徳島市と建築士会等が共同で、高齢期に備えた住まいの改修をしています。こういった形で高齢者の住まいを支援する体制を作っていけるかというのは、今後さらに検討していきたいと考えております。</p>
N 委員	<p>ホームページには情報がなかったもので、そういうこともぜひ市民にわかるようにしていただけたらと思います。</p>
O 委員	<p>先ほど実際に参加した人とオンラインでは効果が違うと言われましたけど、単に運動だけでなく、いろいろな人、社会の中に入って活動することが重要と思っています。どこかに出て行って、誰かとしゃべる、お話しすることは認知症予防にもつながると思います。今フレイルが重視されていますが、動かないと食欲がわかない。動いたらお腹がすく。そして食べるという循環につながっていくということで、そういうことが健康寿命を延ばすということだと思います。</p>

	<p>30 ページの「施策 2 生きがいのある地域づくりと社会参加の促進」で、趣味や娯楽、学習や就業、敬老活動やイベントなどの活動というのが、どのように広報されているのか。若い人であれば、ホームページを見たり、自らいろいろな情報を得たりすることもあると思いますが、高齢者になっていくと、自ら情報を取りに行くのはなかなか難しいので、いろいろな広報の仕方を考えていただけたらと思います。</p> <p>それと、子どもから高齢者までの切れ目のない食育ということも言われております。そういう中で社会福祉協議会の依頼があって、男の料理教室というのをしたことがあります。退職された方や高齢者がたくさん来られて、良い取組でした。いろんな社会参加ができる場所を作っていただきたいということと、いろいろな広報の工夫を今後進めていただけたらと思います。</p>
P 委員	<p>31 ページの「施策 6 医療と介護情報基盤の整備」ということで、住民の方の診療情報等を徳島県内の複数の医療機関や介護施設で互いに参照できるようにしたネットワークシステムが構築されています。</p>
Q 委員	<p>27 ページの「視点 6 介護人材の確保、人材の育成及び業務効率化」で処遇の改善とありますが、私たち介護事業者は処遇改善加算等は申請していただくようになっています。ただグループホームは 2 ユニットで 18 人の定員で、職員はだいたい 15 人ぐらいで、パートの方も含めて運営しています。大きな法人なら事務員がたくさんいて、そのような申請をすることができると思いますが、単独のグループホームだけでは事務的な負担が大きくなかなか申請できない状況があります。申請しているところと申請していないところでは、介護職員の年収が大きく変わってきます。グループホーム協会としても、セミナーをやっていますが、できましたら市の方からも指導いただくとありがたいと思っています。</p> <p>もう 1 点、人材育成の支援ということで、施設を運営するには資格保持者が必要ですが、そういう講座がないので、なかなか資格保持者を育成することができていません。新型コロナウイルス感染症が 5 類になったので、講座をどんどん開催していただきたいです。</p>
R 委員	<p>社会福祉協議会は、まちづくり、地域づくりで皆さんのお力をいただきながら、誰もが安心して共に暮らせる地域づくりの実現を目指すということで活動を行っております。通いの場、集い、地域での一人暮らし、孤独な方、また生活弱者と呼ばれる方に対して、安心して暮らせるような形でいろいろ活動を行っております。そういったものにも財源が必要</p>

でございますが、共同募金の募金額が年々下がっているという状況がございます。

また、高齢者がこれからどんどん増えていくということで、それに伴って認知症の方も増えると思いますが、社会福祉協議会では昨年度から、そのような方の権利擁護の活動を行っています。地域の方も、どこでそういうことが起こっているかわかりにくい面もございますので、そういったことがあれば、社協の方に連絡いただければ対応していきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

閉会